



1980 年
ミュンヘン国際音楽コンクール
声楽部門第 1 位

私が愛した歌曲

ベートーヴェン：君を愛す
シューベルト：春の想い
ブラームス：わが眠りは一層浅くなり
グリーグ：君を愛す
レーガー：希望に寄せる
マーラー：私はこの世に忘れられて



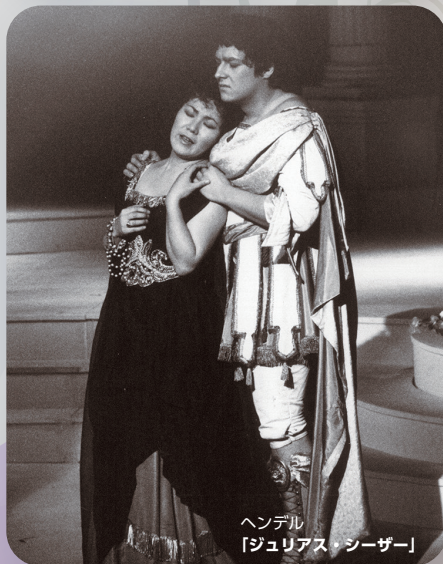
メゾソプラノ

田中淑恵 *Yoshie Tanaka*

海外躍進 40 周年記念リサイタル

私が恋した歌曲

ヴォルフ：イタリア歌曲集より



ヘンデル
「ジュリアス・シーザー」



私が燃えたオペラ

ヴェルディ：歌劇「イル・トロヴァトーレ」より
ビゼー：歌劇「カルメン」より
サン＝サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」より
ほか



ブッチーニ
「修道女アンジェリカ」



ブッチーニ
「蝶々夫人」



共演
中井恒仁
(ピアノ)



共演
藤原千晶
(ソプラノ)

2020 年 12 月 19 日 (土) 14:00
トッパンホール

全席自由 一般 5000 円 学生 3000 円

チケット取扱先 チケットぴあ URL: t.pia.jp TEL: 0570-02-9999(P コード 186-260)

トッパンホールチケットセンター URL: toppanhall.com/ticket/ TEL: 03-5840-2222

後援：公益社団法人日本演奏連盟、日唄文化協会 協力：田中淑恵後援会 マネジメント：オーパス・ワン info@opus-one.jp 03-5577-2072

田中淑恵物語

歌の女神に導かれ（第1回）



幼い頃の淑恵

幼い頃から歌うことが大好き。褒められると嬉しくなり、誘われると何処でも何時でも何でも歌うちびっ子でした。ピアノを習い始めた頃「子どもは直ぐ飽きるから」となかなか楽器は買ってもらえず、教本付録の印刷された紙の鍵盤で弾き語りの真似などしていました。この紙に白黒の鍵盤の印象が数年後に書道を熱心に習うことにながったのかも知れませんね。

小学生になってからは当時流行の日本歌曲に魅了され、行事に歌う曲に『城ヶ島の雨』を提案したところ難しすぎると却下されてしまい残念な思いもしました。中学時代は運動部で専ら体を燃やす日々でしたが、同時に歌好きが高じて合唱部や教会の聖歌隊で歌っていました。この頃は思春期の御多分に漏れずアンディ・ウィリアムスやフランク・シナトラ、ビートルズやプレスリーなどのポピュラーソングにはあまり、特にサンレモ音楽祭（イタリア）のカンツォーネにはシビれました。これが私とイタリア語の出会いでした。

中学3年の時、地元横浜の音楽祭でハイドンのオラトリオ（聖譚曲）「天地創造」のソロパートを歌うことになりました。この頃はクラシック音楽など教科書に載っている曲ぐらしか知らなかったのに、オーケストラの演奏で、しかもドイツ語?! さあ大変!これが、はじめての本格的クラシック音楽との出会いでした。

ここから順調に歌手の道をまっしぐらにと、お思いですか?とんでもございません。歌も好きでしたが書道家への憧れも捨てきれず、高校卒業後の進路には悩みました。そんな時、大正生まれの親の一言「歌手など、河原乞食のやることだ!」間髪を容れず私の反発心が燃え上がり、歌の道を進むことに決めたのです。しかし、なにせ動機が親への反発心ですから、眼を血走らせて歌手をめざしている他の受験生の皆様にはたじろぐばかり。私の才能を埋もれさせてはいけないと声楽の専門家もまきこみ背中を押してくださったのが高校の恩師でした。

10年後。そんな私がなぜ、世界中から精鋭の歌手が集まる国際コンクールで優勝するまでに至ったのか。続きは、次のリサイクルで…。

（つづく）

田中淑恵（メゾソプラノ）

フェリス女学院高等学校を経て国立音楽大学声楽科卒業。東京藝術大学大学院オペラ専攻修了後、ウィーン国立音楽大学 声楽科・リートオラトリオ科 共に全教授一致の評価で首席卒業。オーストリア政府より功労賞を受賞。1980年ミュンヘン国際音楽コンクール声楽部門第1位、国際フーゴ・ヴォルフ歌曲コンクール第1位を受賞し今年で40周年を迎えた。他、リオ・デ・ジャネイロ声楽コンクール、ウィーン楽友協会主催ロマン派歌曲コンクールなど数々の賞に輝く。日本演奏連盟会員、日本カール・レーヴェ協会幹事、国立音楽大学・同大学院元教授。

中井恒仁（ピアノ）

東京藝術大学、同大学院、DAADの奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院修了。日本音楽コンクール第3位その他、国際コンクールにおいても、ブラームス第2位・聴衆賞、セニガリア優勝・歌曲伴奏賞・室内楽賞、ヴィオッティ第3位等入賞多数。ブラームス全曲シリーズやリサイタルの他、武田美和子とのピアノデュオや室内楽など幅広く活躍。久留島武彦文化賞受賞。現在、桐朋学園大学教授、及び名古屋音楽大学客員教授。

藤原千晶（ソプラノ）

福岡県出身。二期会準会員。筑紫丘高等学校を経て、国立音楽大学声楽科卒業。同大学院声楽専攻オペラコース修了。これまで「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ役、「魔笛」侍女I役、「安寿と厨子王」安寿役等でオペラに出演する傍ら、文化庁委託事業 新進演奏課プロジェクト「日本歌曲マスタークラス」に参加するなど、日本歌曲の研究、演奏も積極的に行っている。

●ご来場時のお願い

新型コロナウイルス感染予防のためマスクの着用をお願いいたします。座席数や予防対策については、開催時に発せられる東京都および関係団体のガイドラインを参考に実施いたします。詳細は、トップパンホールの公式webページをご参照ください。

交通のご案内

江戸川橋駅	地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅	JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅	地下鉄丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス	〔上69〕〔飯64〕「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分

※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)

トップパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel:03-5840-2200 Fax:03-5840-1515
www.toppanhall.com

